（事後評価）

女性研究者研究活動支援事業（一般型）

（実施期間：平成 25～27 年度）

実施機関：兵庫県立大学（総括責任者：清原　正義）

プロジェクトの概要

兵庫県立大学は、自然科学はもとより、人文・社会科学との融合領域においても、独創的・先駆的な質の高い研究を進めてきたが、今後、県内の高度な研究基盤を活用した先端研究、地域資源の活用や地域課題の解決に向けた研究のより一層の推進が求められている。

そのため、十分な活用が図られていなかった女性研究者の能力が最大限に発揮できるよう、女性研究者の活動を全学的にきめ細かに支援する体制を構築し、研究とライフイベントとの両立支援、研究力向上支援、女性研究者の採用や登用の増加、女性研究者の裾野拡大のための取組を行い、研究活動の充実・強化を図るとともに、地域の活性化と我が国の発展に寄与することとする。

（１）評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

（２）評価コメント

学長のリーダーシップの下、副学長と全部局長が参画する「女性研究者支援委員会」、副学長を室長とする「女性研究者支援室」が中心となり、県内に広く分散する８つのキャンパスに「女性研究者支援室分室」を設け、各キャンパスの特性を踏まえた、きめ細やかな支援を実施したことは評価できる。また、女性教員 30 名の採用、昇任による教授職への８名の女性の登用に加え、大学全体の女性教員の競争的研究資金の採択率は目標値を上回り、採択額も大幅に増加しており、評価できる。

- **目標達成度：**女性研究者支援体制の確立、女性教員の在籍比率の向上、大学全体の女性教員の競争的研究資金の申請・採択率の増加に係る所期の目標を達成したことは評価できる。一方、大学院博士課程の女子学生比率に係る目標は未達であり、今後の取組の成果を期待する。
- **取組：**理学系、工学系の女性教員の採用を促進するため、複数の専攻で教員の女性限定公募を実施し、また、優れた女性研究者の上位職階への昇任人事を積極的に進めたことは評価できる。さらに、女子学生特別推薦入試の導入など、女性研究者の裾野拡大に取り組んだことや、各キャンパスの分室が中心となり、個々のキャンパスの特性を踏まえた、きめ細やかな両立支援に取り組んだことも評価できる。
- **取組の成果：**30 名の女性教員が新規採用され、女性教員が着実に増加したこと、女性教員の上位職階への登用が進み、女性副学長の誕生にも繋がったことは、評価できる。さらに、ロール

モデルの動画配信といった特色ある取組により、県内の教育・研究機関や企業への女性研究者ロールモデルの提示、女性研究者の研究活動の周知が広く行われたことも評価できる。

・**実施体制：**キャンパスが県内８ヶ所に分散している現状を踏まえ、各キャンパスに女性研究者支援室分室を設置し、全てのキャンパスで取組が円滑に運営できる体制を構築したことは評価できる。また、学長、副学長、部局長で構成される「女性研究者支援委員会」が基本方針等を決定し、副学長をトップとする「女性研究者支援室」が８つのキャンパスに設置された分室と連携を図る実施体制を構築したことは評価できる。

・**実施期間終了後の取組の継続性・発展性：**学長主導により、実施期間終了後も実施期間とほぼ同等の規模で取組を全て継続しており、評価できる。また、「女性研究者支援室」を「男女共同参画推進室」に発展的に改組し、学長特別補佐２名を新たに室員として参画させるなど、より強力な布陣としており、取組の継続性や発展性が期待できる。